

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等		該当なし	
事業開始年度	昭和46年度				
総合計画	大項目 基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目 基本施策	01	豊かな食を支えるまちづくり		
	小項目 施策	01	農業		
事務事業名	07	畜産振興事業			
問 担当課(室)				農林水産課	
合先 職・氏名				係長 中畑 喜久弥	
電 話					
このシート作成に要した時間				0.5 時間	

事業の目的		Plan	
対象 (誰・何に対して)	畜産農家、畜産農家周辺の市民		
目的 (何のために)	環境に配慮した畜産経営体の育成。		
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	環境に配慮した畜産経営を促進する。		

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	畜産振興事業		家畜保健衛生所等関係機関と協力し、適正な畜産経営が展開されるための指導を実施。また、高病原性鳥インフルエンザ等の防疫に対応する。

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
決算額	事業費	千円	0	0	0
	必要人員	人	0.07人	0.05人	0.04人
	事業費計	千円	439	303	348
財源	国庫支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他()				
一般財源		439	303	348	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	結果指標量	戸数	9	9	8
	対前年比	%	-	100.0%	88.9%
	活動コスト	円	303,000	303,000	349,000
	単位当たりコスト		33,667	33,667	43,625

事業の成果		年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
畜産農家戸数	目標値(A)		-	-	-	-
	実績値(B)		9	9	8	到達目標値
	達成率(B/A)		-	-	-	8
成果指標設定の考え方・式や説明						
畜産農家に対しての適正な指導等を今後も継続する。						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	必要性	事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある		B
効率性の評価	コスト	市民ニーズ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	目的達成度	市民参画度 成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	高病原性鳥インフルエンザ等の防疫に対応については、関係機関との連携を図りながら、畜産農家への指導を今年度も継続して実施する。

総合評価		総合評価
環境に配慮した畜産経営に向けての指導は畜産振興を図る上で必要であり、今後も関係機関との連携を密にして実施していく。畜産農家の増加を求めるのは困難であるため、高病原性鳥インフルエンザ等の防疫に対応には万全を尽くしていく。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い

平成26年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	今後とも、畜産農家の増加を求めるのは困難であるため、高病原性鳥インフルエンザ等の防疫に対応には万全を尽くしていく。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しな